

情報科教育法
Educational Method in Information
科目ナンバー : 03CBC3

講義

4単位 通年

【担当教員】

植野 真臣

【教員室または連絡先】

植野（非常勤講師） : ueno@ai.is.uec.ac.jp、永森 : nagamori@kjs.nagaokaut.ac.jp、安藤 : ando@kjs.nagaokaut.ac.jp

【授業目的および達成目標】

教育学の基礎、歴史、考え方を理解した上で、先端的な学習理論を理解する。さらに教科「情報」の内容を深く把握し、授業を計画し、実行できる実践力を養う。

内容は、1. 教育学の基礎、2. 先端的学習理論、3. 教科「情報」の特徴と内容、4. 情報機器を用いた実習、5. 指導案作成と模擬授業、を集中的に行う。

学習・教育目標

A. 当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、当該教科の学習内容について理解を深め、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。

【授業キーワード】

教職科目、教科「情報」、教育学、学習理論、コンピュータ、ネットワーク、実習

【授業内容および授業方法】

植野担当回は4日間の集中講義方式で授業を行う。講義、情報機器を用いた実習、指導案作成と模擬授業、ディスカッションをバランスよく実施する。また、ビデオやeラーニングを積極的に活用する。永森・安藤担当回は履修生の都合と植野担当回の進捗に合わせて平日行う。

【授業項目】

下記の知識を学びながら実践的な力を養う。

教育学、教育の目的、日本の教育の歴史、教育原理、行動主義、認知主義、構成主義
社会的構成主義、教育評価法、教科「情報」の特徴と内容、教科「情報」の教育評価法、
情報機器を用いた実習、マルチメディア教材の作成実習、CG作成実習
指導案作成と模擬授業

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、参考書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を180分程度行い、授業内容に関する復習を180分程度行うことが望ましい。

【教科書】

無し

【参考書】

植野真臣（著） 「知識社会におけるeラーニング」、培風館

【成績の評価方法と評価項目】

レポート 20点 学習指導案 20点 実習成果 20点 模擬授業 40点

【留意事項】

教師になる強い意志があるか教員免許を取ることの意味を良く理解していなければならない。また、教育実習を履修予定であることが条件である。

【参照ホームページアドレス】

<http://www.ai.is.uec.ac.jp/ueno/>